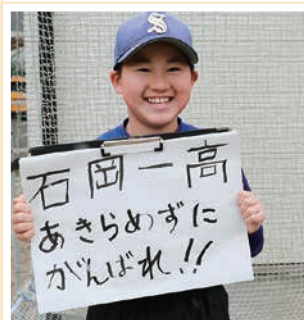


石岡一高野球部が春の甲子園に初出場します。市内のスポーツ少年団の子どもたちや監督からの応援メッセージです。

2月1日時点の人口は9ページに掲載。





## 地域みんなで盛り上げよう！石一旋風に期待

石岡第一高等学校野球部甲子園出場おめでとうございます。明治43年に新治郡立農学校としてスタートし、今年が創立110年目という記念の年です。農業県である茨城県の中で最も肥沃な土地に恵まれていた新治郡で、農業の担い手育成のために設立された県内唯一の郡立農学校でした。

現在の石岡小学校の校地の一角で旧石岡高等小学校の校舎を利用して開校。創立百周年記念誌によると創設当時、農場を確保する郡費がなかったため、町の有志の寄付金で農園を開設し、職員と生徒が開墾整備にあたったそうです。大正

12年に石岡農学校と改称し、現在の校名になったのは昭和24年のこと。石岡一高の創設には、地域の人々の期待と熱い思いが込められています。長年の夢であった甲子園出場が現実のものとなりました。これもひとえに地域の方々の支えによるもの。こんなに地域に愛されている野球部はほかにはないでしょう。

いきいき茨城ゆめ国体の石岡市開催競技はバドミントン。石岡一高野球部の躍進が国体の盛り上がりとして石岡市全体のスポーツ振興につながるように祈念し、エールを送ります。

石岡市長 今泉文彦



▲石岡一高が関東大会初勝利時 (平成28年5月群馬県)

# 石岡第一高等学校野球部 甲子園初出場おめでとう！

平成の最後に、夢と希望あふれるニュースが届きました。1月25日、第91回選抜高等学校野球大会(3月23日から12日間・甲子園)の出場校を決める選考委員会が大府の毎日新聞社本社で開かれ、石岡第一高等学校(大和田俊一校長)野球部が21世紀枠で甲子園という大舞台でプレーすることが決まりました。

21世紀枠とは、前年の秋季県大会でベスト8以上に入り、他校の模範となる学校が選出されるもので、全国から3校が選ばれます。

まず県で1校が選出され、一都七県が集まる関東地区でさらに1校に絞り込まれます。北海道から九州地区までの代表9校から東日本の代表として、石岡一高、西日本からは富岡西(徳島県)と熊本西(熊本県)が選ばれました。

練習時間や環境面で制約のある中で「選手自らが、弱点に気づき、解決法を考える」という自主性を育てる指導方針で11年間、石岡一高野球部を率いてきたのは川井政平監督(石岡市出身)。茨城県で初となる「21世紀枠選出」であり、石岡市初の甲子園出場校の誕生です。

### 「新しい文武両道の可能性」

県内で唯一の造園科と、果樹や草花の栽培技術が学べる園芸科、国公立大学への進学実績を多数あげている普通科のほか定時制学科もあり、全校生徒は1000人近くの大規模校。石岡一高の野球部員49人のうち22人は、造園科と園芸科で学んでいます。選考委員会では、農業実習などで全体練習の時間が限られている中、効率的な練習を行い成果を出してきたことが評価されました。委員の一人は、実業を学びながら部活にも取り組む姿に「新しい文武両道の可能性がある」とコメントしました。進学率や点数だけでなく、専門性があり実践的な学びが求められること、昨年の「金足旋風」も後押しになりました。

### 大舞台でも、自分たちらしい野球を

石岡一高野球部OB会会長の五頭和三さんは「出場決定の一報を受けた時には、全身が震えるような気持ちでした。選手たちには、のびのびと、そして力を存分に発揮し、石岡一高の力を見せてきてほしい」とエールを送ります。

# みんなで掴んだ、 夢の舞台— 郷土の誇り

(挿絵・題字説明) 墨絵は同校出身の日本画家、飛澤龍神さん作、かつて石岡一高にあった松林からまちなみを望む景色です。文字は久保田健一郎さん(同窓会会長)に書いていただきました。



走姿顕心 全員野球 ～この地より甲子園へ～



写真①

練習に打ち込む選手たちを見守るようにグラウンドのバックネットには「走姿<sup>まうしけんしん</sup>顕心 全員野球～この地より甲子園へ～」という書かれた横断幕が掲げられています。走姿顕心の意味は、「走る姿に、その人の心が顕われる」です。

(写真①) 2月2日の練習の合間に。1年生27人、2年生19人、マネージャー3人、計49人のチームです。

(写真②) 1月25日、出場が決定した知らせを聞いた野球部員たち。この日はインフルエンザによる学級閉鎖で登校できなかった部員やマネージャーの生徒たちもいましたが、49人の生徒たち、監督、部長、コーチ、OB、保護者、応援する地域住民、みんなでつかんだ甲子園出場です。

写真②



選手やOB、マネージャーに聞きました

# 生徒の数だけ、野球を通した「学び」がある

2月上旬、日が暮れて薄暗くなった放課後のグラウンドからは「カキン」と白球が飛ぶ音が聞こえてきます。

取材にお邪魔すると「こんにちはは！」と球児たちは帽子を取り、とても気持ちのよいあいさつをしてくれました。

甲子園出場決定前から、新聞やテレビに多く取り上げられ、決定後、ますます注目を集めている石岡一高野球部。

そんな中、変わらず地道に練習を続ける彼らには、地域住民やOBから差し入れが届きます。

「お米やスポーツ飲料、コロッケにから揚げなど、たくさん差し入れをいただいて、本当にありがたいです」と2年生マネージャーの金子さくらさん。1年生マネージャーの阿部千夏さん、鈴木咲依さんと一緒にグラウンドの端にある水道で、毎日四升の米を炊いています。金子さんは、石

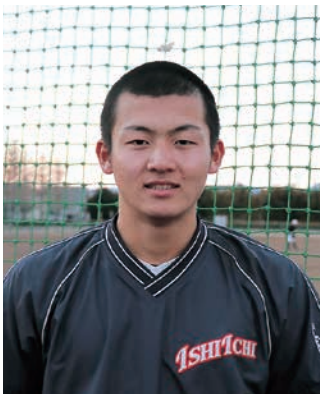
岡一高の野球部だった兄の影響でマネージャーを志願しました。「同級生たちは裏表がなく真つすぐ。お互いを思い合っていて、本当にいいチームだと思います」

差し入れを持って練習を見に来ていた白井健太さんは6年前に卒業した野球部OB。

「入社2年目の年、取引先の会長がいらしたので、あいさつをしたら『こんなに素晴らしいあいさつを受けたのは久しぶりだ』と褒めていただき、名刺交換をさせてもらいました。あいさつは基本中の基本。でも当たり前に行えるのは野球部での経験があったからだ

と思います。仕事で壁にぶつかっても、どうやったら乗り越えられるかを考え、成果を出せたときに働く喜び」と話す眼差しはどこまでも真つすぐ。野球に一心に打ち込んだ経験は、卒業後の人生にも多に生かされていきました。

## 選手インタビュー「野球を通して学べたことは何ですか？」



捕手（府中中出身）  
中山颯太さん（1年）

練習前と練習後には必ず、部員全員でグラウンド整備を行います。マネージャーはスコアブックを付けてくれたり、補食を作ってくれたり、保護者は練習試合に応援に来てくれたりと、野球ができる環境と、それを支えてくれている人々への感謝の気持ちや「礼儀」の大切さを感じています。小学3年生からスポ少で始めた野球、これまでに教えてもらったことを忘れずに甲子園では恩返しできるようなプレーがしたいです。



投手（八郷中出身）  
岩本大地さん（2年）

自分の弱点を見つめ、監督やトレーナーにアドバイスをもらいながら、走り込みや下半身の筋トレなどの練習メニューを自分で考えることで、「自分で気づくこと、考えること」が鍛えられました。こういう練習をさせてもらえて石一に来てよかったなと思っています。スポ少の監督たち、地域の人たちがとても喜んでくれているのが嬉しいです。活躍する姿を見せることで、自分の気持ちを伝えたいです。



主将（霞ヶ浦中出身）  
酒井淳志さん（2年）

技術面もちろんですが、応援してくれる地域の方々、OBの先輩方との関わり、同級生や後輩とのコミュニケーションを通して人間性を磨ける環境で学習していることがたくさんあります。この仲間たちと野球がやりたいと思って、石岡一高にきました。その仲間と一緒に、甲子園に行けることを本当に嬉しく思っています。「部員全員」の力が出し切れるように、一戦一勝、目の前の相手に一生懸命向かっていきたいです。



石岡一高野球部の川井監督に聞きました

# 「本気で取り組んだ経験は、人生の糧になる」

49人の部員をまとめるのは、監督の川井政平さんを筆頭に、部長の林健一郎さんと顧問の人見有樹さんの3人の先生たちです。放課後に週末と部活指導に熱が入ります。

川井監督は、波崎柳川高校から平成21年に石岡一高に赴任。当初はコーチとして指導にあたり、監督9年目を迎えます。就任以来、石岡一高で史上初となる県大会ベスト4や関東大会出場などの成果をあげてきた川井監督にお話を伺いました。

## 大切にしていることは、意思疎通と目的意識の共有

「昨年9月の秋季県大会の藤代高校との準決勝は、延長13回のタイブレークに突入し、4対5で敗れる非常に惜しい試合展開でした。でも生徒たちが本気でやったことは伝わりましたから、この経験を今後の人生の糧にしてほしいと

声をかけたことを覚えています。そこから12月に関東地区の代表に決まり、全国9校中の3校に選ばれ、1月25日には甲子園出場決定と、本当にあっという間の半年間でした。何球も積み重ね、ねばり、ヒットを重ねて点につながるように、自分の力だけでは突破できないことも、チームの力で突破できることがあります。生徒には野球を通して、そんな経験をしてもらいたいと思っています。そのためは生徒同士の意思疎通（コミュニケーション）と目的意識の共有が不可欠。コミュニケーションは自分の考えを伝えたり、人の話を聞いて『自分はどうなのか？』と考えることから始まります。物事を相対的に見られるように、生徒たちには定期的に話し合いの時間を持たせています」

勝ちたい気持ちは大切だけれど、勝ちたいという「欲」

は長続きしないと話す川井監督。「生徒たちの人生をトータルで考えたときに『つけてほしい力』は何なのかを見失わないように。それを一番大切にしています」

## 何歳になっても「夢」をもっている人で

あってほしい「野球を通して、こんな人間になってもいい」というのは、たくさんあります。優しく、思いやりがあってハートが強い。人との縁を大切にできる。チャレンジ精神に富んでいて、創意工夫がある。いくらでも出てきますが、一番は何歳になっても夢をもっている人であってほしい。そのため、10代の若い時に本気になって何かに取り組めるような環境をつくってあげたいですね。情熱をそそいだ経験は、絶対にその後の人生の糧になりますから」

勝ちたい気持ちは大切だけれど、勝ちたいという「欲」

# 石岡一高野球部が見せてくれた 「新たな文武両道の可能性」

市内には石岡一高を含めて3つの公立高校があり、石岡第二高等学校の生活デザイン科、石岡商業高校の商業科・情報処理科と、3校全てで実業を学ぶことができるのが特徴です。石岡一高甲子園出場決定の理由の一つに、造園・園芸という実業科目を学ぶながら部活に取り組んでいることが「新たな文武両道の可能性」という評価を受けました。これは市内で実業科目を学ぶ高校生たちにとっても励みに

なるニュースでした。

## 本物から学ぶ、石岡二高

明治45年創立で今年で107年を迎える伝統校。平成8年から共学になりました。普通科のほかに生活デザイン科があり、調理や被服、保育などの専門科目を学ぶことができるのが特徴です。平成27年度からは県教育委員会の「一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業」の指定を受け、生徒たちが「本物や一流」のものを触れられる機会づくり

に力を入れています。

## 実社会で役立つ学び、石商

石岡商業高校は、昭和39年に県南地区で唯一の商業高校として開校しました。現在、力を入れているのは2年間の商業科目の学びの集大成として3年生が取り組む課題研究の商品開発。地域分析を行い、地域性を生かした商品づくりに取り組んでいます。平成25年から本格的に始まり、地元事業者の協力のもと商品化に取り組んでいます。

市には石岡一高を含めて3つの公立高校があり、石岡第二高等学校の生活デザイン科、石岡商業高校の商業科・情報処理科と、3校全てで実業を学ぶことができるのが特徴です。石岡一高甲子園出場決定の理由の一つに、造園・園芸という実業科目を学ぶながら部活に取り組んでいることが「新たな文武両道の可能性」という評価を受けました。これは市内で実業科目を学ぶ高校生たちにとっても励みに

なるニュースでした。

に力を入れています。

## 石二生から応援メッセージ



千葉結奈さん (石岡第二高等学校・生活デザイン科3年)

『「食物・洋裁・和裁」と「保育」の知識や技能をはかる4分野の検定があるから、全てで1級を取る4冠に挑戦してみない?』と1年生の時に先生に言われたのがきっかけで検定の勉強に力を入れてきました。例年、4冠は県内でも10人程度と聞き、あきらめそうになるときもありましたが、先生方のサポートで4冠を取得できました。

高校で学んだことはコツコツ努力することの大切さ。努力は裏切らない。石一野球部の皆さん、応援しています。頑張ってください!

## 石商生から応援メッセージ



小橋祐哉さん (石岡商業高等学校・情報処理科2年)

学校では、先生たちの指導のもと情報処理検定、ビジネス文書検定、電卓検定、珠算検定、簿記検定で1級を取得しました。商業高校に入って良かったことは、興味の幅が広がったこと。次の目標はITパスポート試験です。石岡一高甲子園出場のニュースを聞いて、自分が出るかのように嬉しかったです。ハンドボール部に所属しているのですが、僕たちも関東大会に出場できるように頑張ろうと力をもらいました。You can do it! 頑張れ石一!



えごま栽培で耕作放棄地の解消、高齢者の生きがいと健康づくり、地域の特産品化を目指して活動する「八郷えごま会」から「えごまのしぼりかす」の提供を受け、ふるさと食品公社(小美玉市)の協力で、えごまアイス(販売価格200円・税抜)を開発。3月1日から石商前のコンビニエンスストア等で期間限定で販売予定です▶

◀生活デザイン科には調理を学ぶフードデザインコースと福祉も学べるヒューマンサービスコースがあります。2年生になると課題研究があり、食物・被服・パソコン・保育・着付けの5分野の選択授業が始まります。着付けはベテランの外部講師を招いて行います。普段の授業の中でも本物や一流のものに触れる体験を重視しています。





(写真提供：石岡第一高等学校・撮影：中村写真館。平成30年夏季大会県大会)

# ひたむきに頑張る姿が誇らしい 大舞台で思いつきり

## 大人に誇りを、 子どもに憧れを

地元で育った子どもたちが甲子園に出場するというニュースは、小さい頃から彼らの成長を見守ってきたスポーツ少年団(スポ少)の監督たちにとっては誇りを、スポ少で野球を練習している子どもたちにとっては憧れを抱く出来事でした。

「スポ少で教えた子どもたちは、自分の息子と同じですよ」と力強い口調で話すのは岡野武士さん。一年生キャッチャーの中山颯太さんが所属している杉並ライオンズの監督です。「経験したことのない大舞台で子どもたちは緊張すると思います『大丈夫だ、思う存分やってこい』と大きな声で言ってやりたい。緊張を乗り越えて、楽しんでやってほしい。楽しんで野球をやっている姿を見せてくれればそれでいいんです」

## 石岡一高野球部に 応援メッセージを贈ろう！

本庁・支所、石岡運動公園、八郷総合運動公園、駅観光案内所などで、応援メッセージを募集中。お寄せいただいたメッセージは、市から高校に届けます。あなたの気持ちを球児たちに届けよう！

3月15日に組み合わせ抽選会が行われ、対戦校が決定します。試合当日はパブリックビューイングも企画。詳しくは広報いしおか Facebook またはホームページなどでご確認ください。

石一野球部の部員たちの中には、市内のスポ少出身の子たちが多数在籍しています。「練習や試合の時に、中学生になったOBが来てくれて、小学生たちにコーチしてくれるんですよ。大人が言うより高校生が言うほうが子どもたちは素直に聞くんです」スポ少の監督たちは、頼もしくなった教え子たちの活躍に目を細めます。

## スポーツ少年団で 心と体を鍛えよう

軟式野球は現在17チーム。150人近くの大人がボランティアで子どもたちの指導にあたっています。保護者も運

営に関わるため友だちとの中で成長する子どもを間近に見ることができ、共通の話題も生まれます。

野球以外にも、サッカー、バドミントン、バレーボール、剣道、ミニバスケットボール、柔道、空手道、水泳、複合(軟式野球・バレーボール)など石岡市には10種目41のスポーツ少年団があります。地域との関わりを通して心と体を鍛えませんか。団員募集中です。詳しくはお問い合わせください。

石岡市スポーツ少年団事務局(石岡運動公園体育館内)  
☎26・7210

問 1 石岡市役所本庁舎 2 八郷総合支所 ☎ 43-1111（代表）

※料金の記載のないものは無料。

問 1 まちづくり協働課

必要書類／購入者の氏名、金額・品名が明記された領収書等、取扱説明書・母子健康手帳（出産前に申請の場合）

② 妊娠中で母子健康手帳の交付を受けている人、またはその配偶者  
① 6歳未満の乳幼児の親権をもつ人  
対象者／国交省の定める安全基準に適合するチャイルドシートを購入し、申請日に市内に住民票があり次のいずれかの要件を満たす人もつ人

申請期限／3月末日  
※30日（土）・31日（日）に購入予定の場合は必ず事前にご連絡ください。  
対象商品／平成30年4月1日～平成31年3月31日（日）までに購入したもの（個人間の売買領収書は不可です）



お知らせ  
チャイルドシート  
購入補助の申請

▼ 仕事などで保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、

募集  
春休み期間の  
学童保育

問 1 社会福祉課  
☎ 23・5569

※期間内に申請のない場合は支給できません。  
申込期限／3月29日（金）まで（土・日・祝日は除く）  
証または石岡市指定の診断書で継続的治療が必要と認められる人

見舞金額／一人につき年額3万円  
対象／平成30年10月1日現在市内在住の難病患者（指定難病特定医療費助成の対象疾病331疾患該当者）で、指定難病特定医療費受給者  
場所／1 社会福祉課 2 市民窓口課

お知らせ  
福祉見舞金の  
手続きはお早めに

☎ 23・7304

授業終了後から午後6時30分まで預かる学童保育を、市内小学校の児童クラブで実施しています。

今回は、3月25日（日）～4月5日（金）（新1年生に限り8日（日）まで）の春休み期間の募集を行います。

申込期限／3月15日（金）  
負担金／日額400円  
（例）3月25日～4月5日まで利用の場合  
3月（5日）分 400円×5日分＝2000円  
4月（5日）分 400円×5日分＝2000円  
計4000円

※日にちを指定しての利用はできません。利用しない日は欠席とし、負担金は欠席でも必要です。  
開所日時／月々金曜日の午前8時～午後6時30分  
※府中・東・南・杉並・園部・柿岡小の児童クラブでは、土曜日にも開所しています。

申込方法／各小学校の児童クラブまたは生涯学習課へ直接申し込み  
※申込書は各児童クラブまたはホームページから。定員はホームページから。

募集  
石岡市奨学生

問 2 生涯学習課  
（内線1363）

に空きがある場合のみ受け付けます。

問 2 教育総務課  
（内線1259）

応募資格／次の項目すべてに該当する人  
①平成31年3月末現在、保護者が石岡市に1年以上在住している人  
②人物・学力ともに優秀で、経済的理由から修学が困難な人  
③平成31年度の高等学校、中等教育学校の後期課程または高等専門学校在学者（予定者を含む）

支給額／年額8万円  
定員／14人  
申込方法／3月11日（日）～4月12日（金）までに募集要項を確認のうえ、願書を添えて教育総務課へ直接申し込み  
※募集要項・願書等は教育総務課または市のホームページから。

問 2 生涯学習課  
（内線1363）

広告掲載欄

広告掲載欄



問 1石岡市役所本庁舎 2八郷総合支所 ☎ 43-1111（代表）

※料金の記載のないものは無料。

募 集  
第2回  
市民サイクリング



▼恋瀬川サイクリングコース  
を走り、筑波山の麓でいちご狩りを楽しみます。いちご狩りの後はフラワーパークで昼食・休憩し、帰路につきます。

日時／3月16日(土)

※雨天時は3月17日(日)に順延。

集合時間・場所／(石岡地区)

午前8時30分・石岡小学校  
屋内温水プール入口

(八郷地区) 午前9時・中

央公民館

コース／高倉休憩所・片野・ふるさと橋(八郷地区合流)

・辻いちご団地・茨城県フラワーパーク(昼食・休憩)

参加費／1000円(中学生以下500円)

※昼食は各自持参。

対象／市内在住・在勤・在学の小学3年生以上

※中学生未満は保護者の同伴が必要で  
す。

定員／30人(先着順)

申込方法／3月1日(金)～14日(日)に石岡運動公園または八郷総合運動公園へ直接申し込み

※月曜休館。月曜日が祝日の場合は、翌日休館。

問 石岡運動公園  
☎ 26・7210

お知らせ  
石岡市体育協会  
大会結果

石岡市スポーツ少年団本部長杯バドミントン大会

1月19日(土)・石岡運動公園体育館

4年生以下男子の部

優勝／大滝 柁翔・柴崎 凱也

(恋南)

4年生以下女子の部

優勝／市村 優衣・前野 和実

(東少年バドミントン)

5年生の部

優勝／烏川 晶成・小原 多嘉

斗(東少年バドミントン)

6年生男子の部

優勝／堤 大貴・堤 勇太

(東少年バドミントン)

6年生女子の部

優勝／菅野 心・市村 愛優加  
(東少年バドミントン)

石岡市スポーツ少年団本部長杯剣道大会

1月20日(日)石岡運動公園体育館  
団体の部

優勝／林少年剣道教室 A

3年生以下の部

優勝／鈴木 大智(府中剣友会)

4年生の部

優勝／飯田 風太  
(林少年剣道教室)

5年生の部

優勝／山下 梅冬(府中剣友会)

6年生の部

優勝／佐藤 優大(府中剣友会)

募 集  
不要な制服を  
お譲りください

▼社会福祉協議会では、卒業

やサイズが合わなくなり不

要になった市内中学校指定

の制服や体操服を、無料で

提供してくださる方を募集

しています。

提供された物品は必要な方

に貸し出し、家庭の経済的

な負担を軽減します。

問 市社会福祉協議会

☎ 22・2411

募 集  
「広報石岡」  
有料広告

募集開始日／3月14日(日)

※午前9時に受付順を決める  
くじ引きを行います。

受付場所／石岡市役所本庁舎  
201会議室

掲載号／5月1日号

2020年4月15日号

広告料(1号あたり)／

1段…2万円 半段…1万円

印刷色／2色刷り

問 秘書広聴課

☎ 23・7275

お詫びと訂正

「広報石岡2月1日号」7  
ページの市選挙管理委員会連  
絡先に誤りがありました。正  
しくは☎23・7282です。

人の動き【2019/2/1 現在】

市の人口と世帯			
	75,145人	(-117)	
男	37,331人	(-46)	
女	37,814人	(-71)	
世帯数	30,811世帯	(-6)	
( )内は前月との比較			
人口増減の内訳			
出生	32	転入	147
死亡	123	転出	173

告 告 掲 載 欄

問 1 石岡市役所本庁舎 2 八郷総合支所 ☎ 43-1111（代表）

※料金の記載のないものは無料。

**募集**  
**統計調査員を募集しています**

**統計調査・統計調査員とは**

▼統計法に基づく様々な調査が実施される際に、調査票の配布や回収など重要な業務に従事する者を、統計調査員といいます。

**統計調査員の仕事とは**

- ①市から従事依頼があり、調査の説明会に出席する。
  - ②調査準備をした上で調査対象者を訪問し、調査票の配布・記入依頼をする。
  - ③記入済みの調査票を回収・点検し、定められた提出先へ提出する。
- 報酬／1つの調査につき3〜5万円程度
- ※調査内容や受け持ち数により異なります。

**応募要件**

- ・市内在住で満20歳以上の健康な人
  - ・責任を持って調査を遂行し、秘密を保持できる人
  - ・税務、警察、選挙、暴力団等に直接関係のない人
- 応募方法**／登録の際に簡単な面接を行います。詳しくは

政策企画課統計担当までお問い合わせください。

※統計調査の実施数や規模は年度によって異なり、必要となる調査員の数も異なります。年間を通じて統計調査の仕事があるとは限りませんので、ご了承ください。

**重点募集地区**／現在、以下の地区で統計調査員が特に不足しています。

- 鹿の子・正上内・泉町・杉の井・杉並・東光台・南台・旭台・茨城・高浜・北根本・東田中

**今後の統計調査について**

▼来年度以降、農林業センサス・国勢調査などの大規模調査が予定されています。

問 1 政策企画課

☎ 23・7277

**お知らせ**  
**紙おむつの購入を助成しています**

▼寝たきりの高齢者などに、紙おむつ購入費の一部を助成しています。今回は平成31年1〜3月分の受付で、平成30年度分の最終締切です。以降の申請はお受けできませんので、必ず期限内に申請してください。

**対象**／次の項目すべてに該当する人

- ①非課税世帯②市内在住③在宅生活の大半を同居者の介護が必要な状態にある人（グループホームやケアハウスで生活している人も該当する場合あり）④介護保険で要介護1〜5までに認定されている人

**助成対象商品**／紙おむつ・尿とりパッド・リハビリパンツ（おしり拭きは対象外）

**助成額**／1か月上限3200円

**申請期限**／3月29日金

**申請方法**／次の①〜③を①高齢福祉課または②市民窓口課に持参し申し込み

- ①平成31年1月〜3月に購入した、品目が記載されたレシートまたは領収書（できるだけ対象商品のみ記載されたもの）
- ②対象者または介護者の振込先口座番号がわかるもの
- ③認め印

問 1 高齢福祉課

☎ 23・7326

**募集**  
**いきいき健康教室参加者**

▼コンサート鑑賞や、簡単な運動を楽しみましょう。

日時／3月28日(日)

午前10時〜11時50分

場所／石岡市民会館 エントランスホール

内容／ワンマンオーケストラコンサート・スクエアステップ

持ち物／上履き・水筒

主催／退職公務員連盟

問 退公連石新支部（中山）

☎ 23・0512

**会**  
**申込不要**  
**人工内耳という選択**

日時／3月10日(日)

午後1時〜3時30分

場所／ミオス大研修室（JR赤塚駅前）

内容／人工内耳によるリハビリについて

講師／富澤文子氏（東京医科大学病院言語聴覚士）

問 （一社）人工内耳友の会

ACITA茨城支部（川口）

☎ 080・6669・6635

FAX 029・357・7944

029・357・7944

029・357・7944

029・357・7944

広告掲載欄

広告掲載欄

☎ 石岡保健センター ☎ 24-1386 八郷保健センター ☎ 43-6655 ※料金の記載のないものは無料。

**地域の見守り活動等  
協力に関する協定を締結**

この協定は、協定締結事業者が業務中に気がかりな高齢者などや道路環境の異変（陥没や倒木など）を察知した場合、市に連絡をして事件・事故などを未然に防ぐものです。今後も見守りの目となる協力事業者の拡大を進めていきます。  
平成30年度 新規協定締結事業者

湖北水道企業団◎ 第一環境株式会社◎

**協定締結事業者**

いばらきコープ生活協同組合◎
東京電力(株) 茨城支店
総合警備保障(株) 茨城支店
かもめガス(株)
水戸ヤクルト販売(株)
ALSOK 茨城(株)
ヤマト運輸(株) 茨城主管支店◎
茨城県高圧ガス保安協会 土浦支部・石岡部会・八郷部会
水戸信用金庫 石岡中央支店
東部瓦斯(株) 茨城南支社
株常陽銀行 石岡支店・柿岡支店・石岡東支店
茨城県信用組合 石岡支店・石岡東支店
常総生活協同組合
日本郵便(株)※
明治安田保険相互会社 水戸支社石岡営業所
生活協同組合 パルシステム茨城
新ひたち野農業協同組合
株セブン-イレブン・ジャパン◎
よつ葉生活協同組合
やさと農業協同組合
住友生命保険相互会社 水戸支社
茨城新聞 茨城会・(有)金子新聞店・(有)エスケ エム・(有)小路新聞販売・(有)好美・YC 石岡西部
公益社団法人 茨城県医薬品配置協会
ジブラルタ生命保険
石岡薬剤師会
ワタミ株式会社◎

※日本郵便(株)は県との包括協定です。  
◎：道路環境についても、見守り活動を行う協定を締結した事業者です。

☎ 地域包括支援センター ☎ 35-1127

**相談  
(要予約)**  
ここらの健康相談

▼ここらの悩み事について無料で相談できます。お気軽にご利用ください。

日時・場所／3月6日(水)

3月18日(月)

八郷保健センター

石岡保健センター

時間／午後1時30分～3時30分

**相談  
電話相談**  
ここらといのちの

▼ここらの悩み事などに、専門の相談員が電話で相談に

応じます。秘密厳守。

日時／毎月第2火曜日 午前9

時～正午、午後1時～4時

電話番号／☎ 43-6655

(八郷保健センター内)

**お知らせ  
3月  
自殺対策強化月間**

▼環境変化が起りやすい3月は、自殺者が増える傾向にあります。国では3月を「自殺対策強化月間」とし、相談機関の周知など様々な取り組みを行っています。ここ数年で全国の自殺者は3万人を下回りましたが、

依然として多くの方が自ら命を絶っています。

市でも、毎年自殺する方が

いる現状があります。周り

が「気づく」ことで、助かる命があります。あなたも

大切な人の変化に気付いたら、声をかけてください。

県では「いばらきこころの

ホットライン」を開設し、

うつ病などの精神疾患や、

こころの健康に関する相談

をお受けしています。

電話番号／(平日)

☎ 029-244-0556

(土日フリーダイヤル)

☎ 0120-236-556

時間／午前9時～正午、午後1～4時(平日・土日共通)  
※年末年始、祝日を除く。

**相談  
行政書士による  
無料相談会**

日時／3月16日(土)

午後1時～4時

場所／国府地区公民館

(国府5-7-1)

相談内容／遺言・相続・農地の有効活用・各種行政手続

きなど

※前日までに電話で申し込み

☎ 県行政書士会 県南支部

☎ 43-0536

広告掲載欄

広告掲載欄

問 1 石岡市役所本庁舎 2 八郷総合支所 ☎ 43-1111（代表）

※料金の記載のないものは無料。

お知らせ

3月1日(金)～7日(木)  
**春季全国  
火災予防運動**

▼春先は空気が非常に乾燥し風の強い日が多いことから一年の中でもっとも火災が起こりやすい季節です。火の元には十分注意してお過ごしください。

**3月上旬 住宅用火災警報器の設置状況調査を実施**

▼消防職員と婦人防火クラブ員が戸別訪問し、住宅用火災警報器の設置の有無・点検状況をお尋ねします。ご協力をお願いします。

**調査地区**／旭台一丁目、二丁目、三丁目、東光台一丁目、二丁目、東成井地内、真家地内

**住宅用火災警報器の  
作動確認をしましょう**

▼いざというとき「作動しなかった」ということがないように、定期的に点検ボタンを押して作動確認を行いまししょう。  
住宅用火災警報器の交換時期は10年が目安です。ご注意ください。

スプレー缶は中身を  
使い切って処分しましょう



▲ガスを出し切ること  
で、火災事故を防ぐ  
ことができます。

①缶を振って中身の有無を確かめる。

②「シャカシャカ」「チャップチャップ」音がしたら中身が残っているので使い切る。  
③缶を振って音が鳴らなくても、ガス抜きキャップで出し切り、穴を開けてガスを抜く。

※ガス抜きや穴あけ作業は、必ず火気のない風通しの良い屋外で行ってください。

問 石岡市消防本部予防課  
☎ 23・0119

市内の月間交通事故件数  
【1/31 現在】

- ・発生件数…23件 (-2)
- ・死者数…0人 (-1)
- ・負傷者数…30人 (+1)
- ・物損事故…258件 (-44)

※ ( ) 内は前年比  
問 石岡警察署 交通課  
☎ 28-0110

まちかど情報センターニュース

問 ☎ 27・5171（木曜休館）  
開館時間／午前10時～午後8時

●いしおか雑巡り

歴史絵巻情景飾り  
▼情報センターのステージでお雛様たちが繰り広げる歴史絵巻です。  
期間／3月10日(日)まで

●ギャラリ

いしおかフォトコンテスト入賞作品展  
日時／3月30日(土)  
～4月12日(金)

●がってんカフェ

親切ホルモンは  
生きる力  
日時／3月27日(木)  
午後1時から

内容／認知症を理解して

サポーターになろう、  
脳のエクササイズ・シ  
ナプソロジー

講師／所 圭吾氏

(理学療法士)



▲同時に2つのことを行う  
ゲームで、脳を鍛えます。

●同時開催・春休み企画

がってんモール  
時間／午後2時～4時  
▼店員さんとして働いたり、お年寄りにサービスすると「まちかどコイン」をゲット！駄菓子などのお買い物が楽しめます。



▲まちかどコインは、葉っぱでできた通貨。大人も子どもも楽しめます。

●サンド市

今月は16日(土)開催！  
時間／午前11時～午後3時  
場所／まちかど情報センター・中心街の店先で、手作り品、園芸品、新鮮野菜などが並びます（フリーマーケット参加者募集中）

●パソコン教室

「仲間とワハハで脳活OK」  
日時／3月18日・25日(日)  
午前10時～正午・午後1時～3時、午後3時～5時  
資料代／500円

3月のコミュニティ

- ◆心と体の健康相談(不定期)
- ◆折り紙教室
- ◆日にち／3月23日(土)
- ◆ちりめん小物
- ◆日にち／3月16日(土)
- ◆まちかどバザール
- 日時／3月6日(水)
- 午前10時から
- 出店自由・参加者募集中

# 市長日記

Vol.42

2月3日(日)

## 人々の言葉の中から

ある文芸評論家の講演会を聞いて、次の2点が心に刻まれました。一つは、昨年は明治百五十年、さらに今年には記念すべき改元の年で、今こそ日本という国を見つめ直す好機であること。二つめは、これからの日本については、美を追求してきたが義に切り替えるべきと思う。

具体的には、それを表現する方策として、昭和15年の紀元二千六百年記念に作られた交声曲「海道東征」を全国各地の主要都市で公演して、雰囲気を高めてはいかかであるかという趣旨でした。

因みに、作詞は北原白秋で作曲は信時潔の両天才で、そのスケールの大きさに聴衆は感動の極みに達したといえます。また、作曲家の信時潔は全国の公立高校など約600校の校歌を手がけ、そのうちの一曲に石岡一高の校歌が含まれています。

また過日ひまわりの館で開催された「地域福祉を考える集い」では、8人の発表者が、それぞれに素晴らしい意見発表を展開しました。中高校生の二人は、聴く者に成長と未来を感じさせ、年長者の6人は思いやりの大切さを伝えてくれました。常々地方自治体は時代の変化を先回りして捕まえ、予めそれに備えることが責務の一つだろうと感じています。

人口減少問題がその代表格でした。その内側にあつたのが少子化と超高齢化の二つで、政策に取り組むに従い、新たな局面が次々と出現してきます。子育て支援や健康寿命などの言葉は2000年以降に頻出するようになりました。

人生百年、包括支援なる4字成句は、さらにその先にある未来を暗示する意味深い言葉で、究極の超高齢化の到来と地域福祉のパッケージ化が顕著になった気がします。日々、様々な人々の言葉の中から私は新しい時代の流れを強く感じています。

文・今泉文彦

## 市長と話そう！ / タウンミーティング

タウンミーティングとは、市長自らが地域や団体の皆さんのもとに出向き、より良いまちづくりのためにお話を伺う制度です。

シリーズ 45

テーマ「子ども達を守るために」

団体／石岡市民間交通指導員連絡協議会

学童等の登校時の安全を確保するため、毎朝立哨活動を行っています。

とき／10月16日 参加者／20人

参加者から出た意見

- 道路標識やスクールゾーンなどが見づらい箇所があるので、対応をしてほしい。
- 指導員の年齢が高齢化しており、後継者不足により欠員の学区がある。
- 市からは、指導員の活動に必要な制服等を貸与してもらっているが、現場の声を反映させて見直しをしてほしい。



※自治会やボランティアグループなど10人以上であれば、随時申し込みを受け付けています。

問 秘書広聴課 ☎ 23-7274

シリーズ 46

テーマ「歴史・文化を生かしたまちづくり」

団体／石岡市歴史ボランティアの会

「常陸風土記の丘」「ふるさと歴史館」や市内の遺跡や建造物等について案内をしています。

とき／1月16日 参加者／14人

参加者から出た意見

- 見学者がその場で調べものができるよう、各施設に「フリー Wi-Fi」を設置してほしい。
- 多くの観光客で賑わう風土記の丘の桜まつりであるが、周辺道路の渋滞解消のための臨時駐車場を確保してほしい。
- 各史跡の解説や地図・写真をふんだんに掲載した、有料のパンフレットを作してほしい。



【3月の休館日】4日(月)・11日(月)・18日(月)・22日(金)・25日(月)・28日(木)

### 3月の楽しいおはなし会

中央図書館

こども図書館 本の森

《おはなし玉手箱》

・2日(月)午前10時30分～

《ひよこのおはなしかい》

・14日(木)午前10時30分～

《おはなし会》

・16日(土)午前10時30分～

中央公民館

《おはなしフレンズ》

・9日(月)午後2時30分～

※申し込みは不要です。すべて30分程度で、赤ちゃん連れでも大丈夫です。安心してお越しください。



◀第2木曜日のひよこのおはなしかいを行う「なかよし」さん。4か月児健診時に絵本の読み聞かせを行う「ブックスタート」でも活躍中。赤ちゃん向けの絵本をたくさんご紹介しています



▼寒い冬が終わり、春の訪れを告げる桜。春といえば、多くの人が真っ先に桜を思い浮かべるのではないのでしょうか。そんな桜の一年を美しい絵で紹介します。この絵本を読んだら、お子さんと「はなのあかちゃん」はどのくらいか、ぜひお近くの桜の木を見に行ってみてくださいね。その他、ひなまつりや入学準備の本などを揃えています。



「さくら」長谷川摂子/文 福音館書店

春の読み聞かせに  
おすすめの本！



▼本の森には、こどもだけのものではない、大人向けのものもあります。「子育て応援コーナー」には、妊娠・出産・育児に関する子育て応援本がたくさん置いてあります。ぜひお子さんと一緒にお越しください。



▲場所は「おはなしのへや」入口前！

こども図書館本の森には「子育て応援コーナー」があります！

創立以来、農学校の模範校として発展を続けました。特に直営農場での農業実習では、水田・畑・家畜・養蚕のほか、呼吸困難の鎮静薬の原料となるロベリヤソウの栽培に成功するなど、多くの薬草栽培も行われ、高い評価を得ていました。

石 岡第一高等学校は、明治43年に開校し、今年創立110年を迎えます。そして、今春の選抜高等学校野球大会(センバツ甲子園)に初出場します。開校当初は「新治郡立農学校」で、石岡高等小学校(現在の石岡小学校)の校舎を利用していました。大正11年に現在地に移転し、大正12年には県立に移管し、「茨城県立石岡農学校」と改称されました。

## 時の記憶

シリーズ 156

### 石岡農学校

文化振興課 (支所)

☎43-1111

(内線 1323)



▲農業実習でイチゴを摘む石岡農学校生

●エントランス展示  
古写真にみる石岡一高  
—石岡農学校のころ—  
期間/4月7日(日)まで  
場所/ふるさと歴史館  
(総社1・2・10)  
開館時間/午前10時～午後4時30分  
休館日/月曜日・3月7日(木)

これらの伝統は現在も引き継がれ「新しい形の文武両道」として、センバツ甲子園の出場へとつながりました。開校当初の地である石岡小学校敷地内のふるさと歴史館で、石岡農学校時代の古写真を展示中です。また、石岡一高社会部が収集した埴輪や瓦なども展示しています。

俳句

いしおか俳句同好会

貝地 小池つと夢  
義理質状それさへ出せぬ喪中かな  
東大橋 醍醐 正夫  
木枯らしの老いの肌刺す夜道かな  
北府中 高木 忠雄  
滝凍る水の息の根止められて  
太田 根岸 基美  
北風や人置き去りの世の早さ  
細谷 松崎 淑子  
店頭に餅花かざし客を呼ぶ

やさど俳句会

辻 上林 愛子  
初日影生きる力を授かりぬ  
太田 越智 旅舟  
初御空十七音を極めたし  
瓦谷 石田 清美  
相応の夢育まむ年新た

短歌

石岡短歌同好会

南台 海老澤明子  
掃除すといふわが部屋をあと  
にして食堂に見る真冬の太陽  
井関 木間塚具子  
水霜のおりたる庭に色を増すプ  
リンセスミチコの花びらの赤  
南台 田村 満佐  
芽の出るを見るは楽しも朝夕  
に畑見まはりしてみたくなる

石岡 外川なをみ  
癌を病み黄泉の花園近づくか  
八十路の歩みゆるゆるとなる

八郷短歌会

山崎 鈴木 董  
体調が良ければ沢庵漬けむかと  
迷いつつ大根の手配をすまず  
山崎 西口はま子  
ひとあゆみ喜寿への階段上り  
ゆく元号改むに願ひを込めて

俚謡

石岡俚謡会

石岡 貝泉奄翁  
年末ジャンボに 託した夢が  
消えて今年も 寒い冬  
府中 稲田 すみ  
意志は弱いが 今年は書こう  
光る新品 日記帳  
国府 坂下 蜻蛉  
柱支えた 礎石のくぼみ  
歴史伝える 国衙跡

東大橋 醍醐 正夫  
朝の緑茶を 味わいながら  
さてと一日を 考える  
山崎 若色 茂  
謹賀新年 一緒に住もう  
一人息子の 年賀状

下林 加藤 弥生  
初日輝く 古城の松に  
さつと二刷毛 今朝の雪

鹿の子 田村こまくさ  
遠く懐かし 写真を見つめ  
淡い思い出 汚れない

文化協会に  
入りませんか?

国府 篠原 美千代  
残る余生は 三猿主義と  
決めて静かに 茶を点てる  
下林 白井 富喜江  
共に笑顔で 新春迎え  
愛の介護の ケアキ会

文化協会では、

文化協会では、会員を随時  
募集しています。一緒に俳句・  
短歌・俚謡を楽しみましょう。  
文化振興課(支所)  
☎43-1111(内線1322)

投稿作品

真家 川崎 夫久  
下萌や大地に生を感じ取り  
柴内 羽生 俊  
節分や九十一歳の身となりし  
福を招くや孫の声聞く

作品募集

市民の作品(俳句・短歌・  
俚謡)を募集しています。  
送付先/〒315-8640  
石岡市石岡一丁目一番地一

石岡市役所 秘書広聴課  
「文芸いしおか」係

文化協会だより

第7回 八郷吟詠会

八郷吟詠会は、漢詩を吟唱する会です。昭和36年に発足してから、約57年を経て現在に至っております。

詩吟は難しいという声を耳にしますが、そんなことはありません。詩吟は唄ですから、普通に声を出して唄えばよいのです。そして、自分なりに漢詩を唄って、ひと時を満足できれば健康にもよいことです。

吟詠会では、年に数回公民館に集って練習をし、八郷芸能祭や近隣の吟詠大会に参加して楽しんでいます。

随時会員を募集しております。どうぞお

気軽に入会してください。会員一同お待ちしております。

会員/13人 年会費/無料

☎八郷吟詠会

☎090-1421-6216 (中田 守文)



